

(議題 2)

1. 長南町における巡回バス等の運行状況 (これまでの町の取り組み)

<p>① 町民の移動手段を確保するとともに町民の福祉向上を目的として、巡回バスの試行運行を開始。役場周辺を起点として町内全域を4路線に分け、現行の路線バスと極力競合しないようにルートを設定し運行しています。4路線中1路線は、遠距離通学児童(西小学校)の利用があることから登下校時間帯の乗車率は高いが、日中の時間帯の乗車率は低く、また他3路線については、低密度需要路線であることから全便通じて利用客がほとんどなく非効率な運行となっています。</p> <p>② 町内に居住する身体障害者等が、通院及び訪問等にあたり、タクシーを円滑かつ迅速に利用することにより、社会活動の範囲を広め、もって身体障害者等の福祉の向上を図ることを目的として福祉タクシー事業を実施しています。</p> <p>③ 遠距離児童(長南小学校)の通学路線を存続させるため、路線バス運行補助事業を実施しています。</p>			
<p>内容：</p> <p>①マイクロバス2台を使用し、幹線道路を運行。 <u>運行便：</u> 午前3便、午後2便 <u>運行時間：</u> 7:20～17:30 <u>運行日：</u>月～金 <u>料金：</u>1回100円</p> <p>②利用資格者が制度を利用した場合1回につき千円を限度とし助成。 福祉タクシー事業所に対し、利用1回につき利用資格者1人当たり300円を協力費として交付。</p> <p>③路線バス運行経費の赤字補填</p>	<p>実施主体：</p> <p>①町 ②町 ③町</p>	<p>実施時期：</p> <p>① H16.3.1～ ②H8年度～ ③S57年度～</p>	<p>実施後の課題：</p> <p>①地域・集落間の交通格差が解消できていない。また、財政状況の悪化により巡回バスの運行をそのまま継続することが町財政の大きな負担となっている。</p> <p>②本制度を利用しても利用者負担が発生するケースが多くあることから利用率が低迷している。</p>

2. 町の公共交通(巡回バス等)における問題点等について

(今までのアンケート・意向調査等より)

(全体的に)

1. H23. 4. 1 現在住基人口 9,389 人 実人口では 9,000 人以下となっている。また、65 歳から 79 歳まで及び 15 歳から 19 歳までの人口は、2,255 人であり、巡回バス利用対象者が基本的に少ない面がある。
2. 平成 22 年度の利用者合計 延べ 9,527 人(内児童 2,494 人)と減ってきている。(平成 20 年度 13,119 人(内児童 4,132 人)がピーク)
3. 巡回バスは、当然ながら、福祉目的な面もある。
4. 町内に、核となる施設・病院・商店街・駅・繁華街等がないこと。
5. 運行開始から 7 年経過し、利用者数の割には、運営経費が多額となっている。年間 1,500 万円程度。
6. 町民が仕事以外で出かける場合は、茂原駅から電車で・茂原市内の医療機関・茂原市内ショッピングセンター等・牛久方面・大多喜方面・睦沢町・長生村方面への日用品の買い物が多いと思われる。
7. 圏央道が開通して、インターも利用され始めると、人の流れが変わる可能性がある。
8. 町内においては、小湊バス長南営業所がバス乗継連携の中心となっている。
9. どの家庭でもほとんど車があり、子ども・高齢者の送迎を行っている。

(子ども関係)

10. 18 歳未満の児童・生徒は、塾、通学、休日の外出等が想定されるが、主に 12 歳以上で、しかも殆どが親の送り迎えで移動していると思われる。その理由として、
 - ・自宅から巡回バス停(定期バス停)まで遠いため。
 - ・時間が早い(遅い)ため、巡回バス(定期バス)の運行時間が無いため
 - ・「巡回バス(定期バス)を待つ時間がない。」(「バス停まで歩かなくてはいけないこと」、また、「待つ時間も面倒」)
 - ・天候が悪い時もあり、自家用車での送迎の方が時間かからず便利なため
 - ・小学校の通学時でさえ、さほど遠くなくても父兄が車で送迎している現状である。天候の悪い時は、尚更多い状況となっている。
 - ・社会問題化している、登下校時の不審者の出没、犯罪等の報道が保護者に対して敏感にしているのではないか。
 - ・以前の町で発生した、子ども達の 5 人の交通死亡事故も、意識的には影響を与えていることもあるのではないかと思われる。

- ・特に女の児童・生徒の保護者は、変質者・不審者から子を守るため、より神経質になっており、遅い時間・1人での帰宅・バス等の利用はさせず、自家用車で送迎をしていると思われる。「スクールバスの検討を！」

(一般・高齢者等)

11. 定期バス（小湊・HMC東京）を利用しない理由は、巡回バスと殆ど同じと思われるが、
 - ・本数が少ない。・時間がかかる。・乗り継ぎで待たなくていけないから。
 - ・帰りのバスの時間を気にしなくてはいけない。
 - ・天候が悪いと利用したくない。（雨・強風・寒い・暑い時等）
 - ・荷物を持つのが制限される。
 - ・バスに介護者がいないと一人では乗れない。
 - ・バス停・路線・運行時間・乗り継ぎ等知らないため。PR不足か。
 - ・「バス代を支払うなら、車で出かけても同じである」と思われている為。等
12. 高齢化・核家族化が進み、今は車の運転が出来ても、将来移動手段に困ることも予想される。
13. 80歳を過ぎた高齢者は、ほとんど外出しない人が多いと思われる。
14. 高齢者等が外出する理由は、親戚・知人の家に行くこと、用件があって外出すること、銀行、農協、役場、散髪等の外出理由が想定される。
15. 高齢であったり、身体障害者であったり、また病気がち等の方は殆ど外出せず（出来ない）、訪問看護、子ども、親戚の定期的な見回り、身の回りの世話をされて、自宅で過ごしている方が多い。
16. 介護が必要な方が出かける場合は、福祉タクシーの制度があること。
17. 「フリー乗降ありがたい。」との意見あり。
18. 「夏場・冬場の時間を変えてほしい」という意見あり。

(まとめ)

19. 平成22年実施「住民アンケート調査結果」より（無作為 654人）
 - ・「日常生活（日用品購入・外食等）の関わり市町村」 茂原市が70%
 - ・「医療機関・受診機関」は茂原市が42%
 - ・「自家用車が主な交通手段」の方の割合 75～85%
 - ・「住みにくい」と回答した方の86%が交通の便が悪いと回答。また、その9割の方が、「買い物が不便」と回答。
 - ・「公共交通の利便性の満足度」がもっとも低かった。
 - ・「公共交通に対する関心度・重要度」も平均より低く、車に依存している為、重要度も低くなっていると思われる。